

# 関節鏡視下手術とは

以前の関節に対する手術は、皮膚を大きく切開して行なっておりました。そのため患者さんへの負担は大きく、入院期間や術後回復が長期間に及ぶことはしばしばありました。

しかし、近年関節鏡手術の技術の向上により、『安全』、『身体への負担が少ない』、『短期入院』など、患者様の生活に負担となりにくい手術へと変わりました。

## 利点① 傷口が小さい

正常組織へのダメージが非常に少ない為、傷が目立たない

## 利点② 感染症リスクが低い。

小さな切り口からカメラを挿入し、生理食塩水を関節内に満たしながら行うため感染のリスクが低くなります。

## 利点③ 術後の回復が早い。

手術後すぐにリハビリが可能となるため、回復が早く・スポーツ復帰が早い。

## 利点④ あらゆる関節で手術が可能です。

(膝・肩・肘・手・脊椎・股関節など)

野球肘、投球障害、スポーツの怪我だけではなく慢性の関節障害(五十肩など)に有効。

